



田中好一殿之像

田中好一氏は修道学園理事長として、修道短期大学の開設、広島商科大学の開学、広島修道大学への改組、沼田キャンパス移転を主導し、広島修道大学の基盤を整えました。田中氏の功績をたたえ、1960年11月3日、修道学園同窓会により「田中好一殿之像」が観音キャンパスに建立されました。胸像の裏には、「今日学園ノ隆昌ハ先生ノ尽瘁ニヨルトコロ洵ニ大ナリ」と刻まれています。1974年4月、沼田キャンパスへの移転に際し、胸像も移されました。

設置場所



学校法人修道学園 創始300周年記念 新体育館建設事業寄附金

※デザインは変更になる場合があります。



広島修道大学の更なる発展にける思いをご理解いただき、新体育館建設事業寄附金募集に格別のご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

新体育館建設事業寄附金お申し込みはこちらから⇒



広島修道大学 寄附金

平素より広島修道大学の教育活動にご理解とご支援をいただき、感謝申し上げます。より一層のあたたかいご支援、ご協力を承りますよう心からお願い申し上げます。

広島修道大学寄附金お申し込みはこちらから⇒



本誌へのご意見などありましたら、下記までお寄せください。
本誌の記事・写真などの無断転載を禁じます。



広島修道大学

学長室総合企画課

〒731-3195 広島市安佐南区大塚東1-1-1
TEL 082-830-1102 FAX 082-830-1324
WEBサイト <https://www.shudo-u.ac.jp/>



広島修道大学公式SNS

@shudo_u

@shudo_university

@shudo_university

@HiroshimaShudoUniversity

●TRUTHバックナンバー



Truth

広島修道大学

No.223

2023 WINTER

特集1 単科大学から総合大学への発展
—広島修道大学への校名変更から50年を迎えて—

特集2 ワールド・ステージ・プログラム始動!



contents

- 3 **特集1**
単科大学から
総合大学への発展
—広島修道大学への校名変更から50年を迎えて—
- 8 **特集2** 自分の道を見つける・力を伸ばす
ワールド・ステージ・プログラム始動!
- 10 未来への探求
岡西 政典助教 人間環境学部
- 12 修大人の飛翔 -活躍する卒業生
川村 孔二さん ひかり総合法律事務所 弁護士
- 14 修大人 -在学生紹介
辻 雄亮さん 商学部 商学科4年
- 15 海外留学記
松廣 理沙さん 国際コミュニティ学部 国際政治学科4年
- 16 Shudo×SDGs
省エネルギーを考慮したキャンパス整備
フードバンクへの取り組み、学生に食品・食材を配布
- 18 Campus News
- 20 サークルインフォメーション
ピックアップサークル
- 21 INFORMATION
- 24 修大百景
田中好一殿之像



●表紙撮影場所：3×3バスケットボールコート
2023年10月に、全天候テニスコート跡地に3×3バスケットボールコートが設置されました。3人制バスケット「3×3 (スリー・エックス・スリー)」は、国際バスケットボール連盟(FIBA)が正式なルールを設け、2007年から「正式競技種目」として、近年注目を集めつつあるスポーツ競技です。コートでは、バスケットボールだけでなく、ホッケーの陸上練習も可能な仕様となっています。



川内地区に広がる広島菜の畑



広島修道大学がある広島市安佐南区では、今も住宅街のどこどこに畑を見かけます。その安佐南区には伝統野菜と呼ばれる地域独特の野菜があることをご存じですか。高取・長楽寺の笹木三月子大根、中筋の春菊、祇園のセリ・パセリ、一本草枝豆等たくさんある中で、最も有名なものといえば川内の広島菜でしょうか。

広島菜は明治に出版された書物にも川内等で盛んに栽培されていたことが記されており、長い歴史があることがわかります。主に漬物に加工されるので、生の広島菜を見たことがある人は少ないかもしれませんが、一口に広島菜と言っても実は様々な形状があります。葉が横に開いているもの縦にすっと伸びているもの、葉の数が多いいもの少ないもの、風味の強いもの弱いもの等です。その違いを系統と呼び、高い採種技術を持った農家の名前を冠して〇〇系と名がついています。広島菜の採種の難しさとして、同じ形状のもので交配し続けるとよい種が取れなくなるという点があります(内婚弱性)。そのため親株と異なる株を掛け合わせる必要があり、その株を選ぶ際に職人的な技が必要となります。

冬の寒い朝、青々と育った広島菜を眺めながら、良いものを次の世代に繋げていくためには、同質的なものだけでコミュニティを作ったり、同じことばかりをひたすら続けていくのではなく、多様なもの、異質なものを上手く掛け合わされていくことや、1つ1つの存在を見極めながら新しいものを組み入れていく勇気が大切なのだということを改めて感じています。

学長 矢野 泉



特集
1

単科大学から 総合大学への発展

—広島修道大学への校名変更から50年を迎えて—



1960年、広島市観音の地に
広島商科大学として開学。
1973年の人文学部増設に伴い
広島修道大学へ校名変更し、
50年を迎えました。
2023年度は単科大学から、
文科系総合大学への第一歩を
踏み出してから50年という
節目の年です。



単科大学から総合大学への発展

—広島修道大学への校名変更から50年を迎えて—

学長メッセージ



学長
矢野 泉

本学は、1960年に商学部を有する単科大学「広島商科大学」として開学し、その基礎を築きました。その後、1973年に商学部に続き2番目の学部となる人文学部を設置し、大学名を「広島修道大学」に校名変更しました。

「修道」という名は、1870年(明治三年)、十二代藩主浅野長勲により、修道学園の淵源となる広島藩の講学所である「学問所」が広島城中二の丸から同じ城内の八丁馬場へ移され、「修道館」と改称したことに始まります。大学名として、「修道」の前に「広島」を冠し「広島修道大学」としたのは、世界的に平和を象徴する「広島」にある大学としての国際性を意識したためです。

2023年度は校名を変更して50年目の節目の年です。同じく人文学部も50周年を迎えました。商学部の単科大学(College)として始まり、人文学部、法学部、経済科学部、人間環境学部、健康科学部、国際コミュニティ学部と新たな学部の設置により、現在は7学部13学科4研究科を有する総合大学(University)へと教育研究を拡充しました。幅広い学びを展開している本学には、多様な関心を持つ学生が集い、さまざまな分野の知識・技能を磨いています。

2024年度には人文学部人間関係学科社会学専攻を改組し、人文学部社会学科が設置されます。さらに、2025年度には、修道学園創始300周年を迎えます。社会変化とともに本学も大きな節目を迎えています。変化を見据えながら、教育研究の総合性を生かして、多様化・複雑化する社会課題に向き合い、主体的かつ協働的にその解決に取り組む人材、ゲームチェンジャーとなる人材の育成に努めていきたいと考えます。また、これまで培ってきた地域との関係性の中で相互に刺激しあい、より総合的、創造的な大学となっていきます。



広島商科大学時代



観音キャンパス最後の合格発表



現在の広島修道大学

1973年の出来事

単科大学から総合大学へと舵を切った年

広島商科大学として開学して10年が経過した1970年、新しい時代と社会の要請に応えるため、単科大学から総合大学へと舵を切りました。学内で2年半にも及ぶ検討を重ね、1973年、人間関係学科(心理学専攻・社会学専攻・教育学専攻)と英語英文学科の2学科からなる人文学部を開設しました。

「広島商科大学」から「広島修道大学」へ

人文学部を増設し、複数学部となったことから、広島商科大学という校名を変更することとなりました。学内で名称の公募が行われ、提案された名称は、「安芸大学」「修道大学」「広島修道大学」「広島国際大学」「広島平和大学」「沼田大学」「修道学園大学」「修道館大学」などの案が出ました。数多くの候補の中から今日の「広島修道大学」へと校名変更しました。

新・シンボルマークとして誕生した現在の校章

校名変更に伴い、校章も変更しました。修道学園の象徴である「菊」をベースに、大学を意味する「大」の字を浮き上がらせたもので、ベースになっている「菊」は、花と葉とを内接円として全体的にシンメトリックなデザインに仕上げられています。



校名変更と人文学部認可を取り上げた大学広報誌TRUTH(1973年1月発行)



広島商科大学校章



広島修道大学校章



商大祭から修大祭へ

History

沿革

1725年 (享保10年)11月	1960年 (昭和35年)4月	1963年 (昭和38年)4月	1969年 (昭和44年)4月	1973年 (昭和48年)4月	1974年 (昭和49年)4月
広島藩五代藩主浅野吉長が藩校「講学所」を創始	広島商科大学商学部商業学科開学	商学部経営学科設置	商学部管理科学科設置	人文学部人間関係学科・英語英文学科設置 広島修道大学に校名変更	西区観音から沼田キャンパスに移転



沼田キャンパス移転当時

1976年 (昭和51年)4月	1990年 (平成2年)4月	1997年 (平成9年)4月	2002年 (平成14年)4月	2010年 (平成22年)11月	2015年 (平成27年)4月	2017年 (平成29年)4月	2018年 (平成30年)4月
法学部法律学科設置	法学部国際政治学科設置	経済科学部現代経済学科・経済情報学科設置	人間環境学科学科設置	四年制大学設立50周年	鈴峯学園との合併	健康科学部心理学科・健康栄養学科設置	国際コミュニティ学部 国際政治学科・ 地域行政学科設置

人文学部50周年を迎えて

～単科大学から 総合大学への発展と共に～

2023年度、人文学部も開設50年を迎えました。広島修道大学への校名変更と同じく節目を迎えた人文学部について紹介します。



人文学部長
河川 和也

学部長メッセージ

人文学部は、学問領域としては「人間の探究」をめざす学部であり、当初は人間関係学科と英語英文学科により構成されていました。2016年からは、組織的な変遷を経て、人間関係学科(心理学専攻・社会学専攻)、教育学科、英語英文学科となり、その翌年、人間関係学科の心理学専攻が新たな学部である健康科学部心理学科に改編されました。本学のなかでは、比較的大きな変化を経験した学部であると言えます。そして、2024年度からは人間関係学科は新たに社会学科として始動いたします。こうした変化の節目に、11月には人文学部開設50周年記念事業「未来へとつなぐ」を開催いたしました。「フォーラム」として、名誉教授をお迎えし、人文学部が経てきた道のりについて語っていただき、現役学生が聞き、そして若い世代の思いを伝えるという試みを行いました。この変化や激動の時代には人文学部が掲げてきた「人間の探究」がいかに重要かが参加者の多くに共有されたようでした。各学科専攻の特色を生かしたイベントも、教職員や卒業生、名誉教授や地域住民のみなさんによる多くの参加をいただき、コロナ禍を経て、人びとと再び交流ができる喜びを感じていただけたのではないかと思います。組織としては変化してはいますが、学問における変わらぬ問い、それは人間をいかに理解するかということです。今後も、そうしたことは人文学部の矜持として持ち続けてまいります。



人文学部50周年に寄せて

広島修道大学 名誉教授
市川 薫



1972年、吉田拓郎氏が『結婚しようよ』を大ヒットさせ、田口信孝氏がミュンヘンオリンピックにおいて金メダルを獲得したことによって、当時、愛知県の高校に通っていたひとりの若者が、遠く中国地方に広島商科大学という大学があることを知る。それからおよそ10年後の1983年、その若者は、人文学部を設置し、校名を広島修道大学と改めたその大学に英語・英文学の教員として赴任する。

着任からしばらくして新任教員はある先輩教員の自宅に招かれ、「(業績は乏しいが)君の論文のこの文章が良かったから採用したんだ。今日からは同僚でありライバルだ。お互いに頑張ろう」と激励された。先輩教員とはのちに人文学部長となる津村憲文先生だが、残念ながら在任中に亡くなられてしまう。しかし、その言葉とその時の先生の表情は新任教員の心の中に今も生き続けている。

1980年代後半から90年代は世界的に大きな変革期だったが、日本の大学にとっても同様であった。変革を強く促したのは1991年に文部省が打ち出した大学設置基準の大綱化である。その内容は主として大学に対する規制緩和だったが、特に、一般教育、専門教育、語学、保健体育という伝統的な科目区分を撤廃し、各大学が自主的にカリキュラムを編成することを容認した点が画期的だった。

人文学部ではこれを受けて約2年の議論を経て新しいカリキュラムを策定したが、ひととき難しい作業を強いられたのは人間関係学科だった。というのも、心理学、社会学、教育学という3専攻について「人間関係学」という視点から相互関連性を保持しつつ、専門領域を充実強化することが求められたからである。言い換えれば、それは人間関係学科の設置理念をどう継承してゆくのかという問題でもあった。

2016年に教育学専攻が教育学科に、2017年に心理学専攻が健康科学部心理学科に改組され、さらに、2024年度に社会学専攻が社会学科となることで、人間関係学科はついにその歴史に幕を下ろす。しかし、3つの学問領域によって多角的に人間を捉え、学際的で柔軟性のある学問をめざすという設立時の理念は50年が経過した今も色褪せてはいない。

90年代のもうひとつの大きな動きは国際化である。大学全体の取り組みに加えて人文学部では英米の大学と提携を結び、英語英文学科の学生を中心に10年以上に渡って毎年30名から40名程度の学生を派遣した。たとえ1カ月のプログラムであっても確実に成長を遂げる学生たちの姿に驚嘆させられたことをよく覚えている。

日本では多くの学生が大学卒業と同時に就職するため、大学教育に実社会での実用性や即効性を求めがちである。しかし、教育が「すぐに役に立つかどうか」という尺度だけで測られることになれば、究極的には太平洋戦争中の学徒出陣のような事態を招くことになりかねない。人文学が勇ましい言葉によって蔑ろにされ始めたとき、世の中が決して良い方向には進んでいないことを、少なくとも人文学に携わる人たちは知っておいたほうがよい。

2023年、人文学部創設50周年の節目に、初代学部長の立川昭二郎先生が亡くなられた。先生のご冥福をお祈りしながら、人文学部の次の50年に期待を繋ぐことにしたい。

TOPICS 1 人文学部50周年記念事業「未来へとつなぐ」を実施



フォーラム(各学科の在学生たちとの対話)

11月18日、人文学部開設50周年記念事業を開催し、在学生、卒業生、教職員、一般の方など合わせて、延べ290名が参加しました。

記念事業は「未来へとつなぐ」というテーマのもと様々なプログラムを実施しました。



詳しくはこちら



人間関係学科社会学専攻「Café Sociologie」



教育学科「修大ふぁみりーフェスタ♪」



英語英文学科「ワクワクする未来へ」

TOPICS 2 2024年4月 人文学部社会学科開設

・入学定員 95名 ・取得学位 学士(社会学)



詳しくはこちら



詳しくはこちら



副学長 竹井 光子

全学年対象の新留学支援制度が2024年度より始動

ワールド・ステージ・プログラム (World Stage Program: WSP) は、2024年度より全学年を対象にスタートする新たな留学支援制度です。留学に必要な語学力の進捗を示す目安としての「ステージ(段階)」と、それに連動した奨学金制度によって、個々の目的にあった留学(=世界とつながる経験をする「ステージ(舞台)」)の実現を支援します。

目標達成型 (アチーブメント)



Point 1

語学力の目安を示すステージ制を設けて段階的目標を明確化

Point 2

各ステージに推奨留学プログラムを設定

Point 3

ステージに応じた奨学金制度による経済的支援

Point 4

ステージをのぼるための国際理解科目(留学・言語文化・言語)の履修モデルを用意

動機づけ型 (スタートアップ)

※1年生対象



WSPのステージ要件

英語資格
(TOEIC・TOEFLなど)

英語以外の外国語資格
(TOPIK・HSK・スペイン語技能検定)

修得単位
(英語以外の外国語科目の修得単位数)

ステージには、「英語資格」、「英語以外の外国語資格」、「修得単位」の3つの要件があります。本学での留学プログラム(海外セミナー・交換留学)に参加する場合、留学プログラムで学修上求められる言語のステージ要件が適用されます。自分が設定した目標に向けて、本学での推奨科目の履修とあわせて、外国語資格取得にチャレンジし、ステップアップをめざします。

留学を支援する奨学金を用意

チャレンジチケット

動機づけ型
(スタートアップ)

1年生の留学を支援

「チャレンジチケット」は、3カ月未満の海外セミナーにチャレンジする1年生全員に対して一人につき1回に限り一律5万円が支給されます。1年次に留学にチャレンジする人を広く支援する「チャレンジチケット」を用意しています。

ステージ奨学金

目標達成型
(アチーブメント)

高難易度の留学をめざす人を支援

「ステージ奨学金」は、学生一人ひとりのステージ(語学力)と留学プログラム(派遣地域・期間)に応じて金額を算出する仕組みとなっています。

「留学」とカリキュラムを関連付け、それぞれが輝けるステージ(舞台)の創出へ

いよいよWSPが始まります。この機会に、WSPに込めた思いをお伝えしたいと思います。

コロナ禍で国際移動が一時的に停止・停滞しましたが、その間も本学では海外協定大学等とのオンライン交流を継続してきました。言語や文化の違いを越えた接触体験は、視野の拡大、自己発見、コミュニケーション能力や異文化理解力の向上など、多くのメリットをもたらすと考えるからです。国際移動がほぼ平常となった今、これらのメリットを生かした経験を「留学」という形で実現することを教育面・経済面で支援するのがWSPの役割です。社会の多様化が進む中で、さまざまな言語文化圏への留学をより積極的に促進したいと考えています。

大学生活の中で「留学してみたい」と少しでも感じたら、まずはWSPに登録しましょう。これがアクションの第一歩です。どんなことでも、アンテナを張り、情報収集することが重要です。WSPへの登録により、留学に関する情報が手に入りやすくなります。そして、設定された「ステージ」の中で自身の言語習得レベルを確認し、いつ、どこへ留学するか計画を立て始めます。まずは飛び出してみようという「動機づけ型」の短期留学に挑戦して、その経験をその後の学内での学びに生かすもよし! 学内で学びを深めながら言語力を身につけ、「目標達成型」の中・長期留学に挑戦するもよし! 学生一人ひとりの希望に合った計画をサポートします。

また、「留学」をカリキュラムと関連づけて考えてもらうために、「ステージ」をのぼるための履修モデルを提供します。留学前と留学後に履修することが推奨されている科目を学修計画に組み入れたり、受験料補助制度を利用して語学資格試験に挑戦する中で、「ステージ」で示される成長を実感してほしいと思います。「ステージ」は奨学金の額とも連動しており、経済的支援の面で動機づけとなることを期待しています。

皆さん一人ひとりが「ステージ(段階)」を意識しながら、それぞれが輝ける「ステージ(舞台)」を創り出してください。人生の中で大学生活を振り返ったとき、あの時のあの留学が今の自分を形作る重要な経験であったと感じられるような支援をめざしています。



JAMES, Daniel
国際センター長に聞く!

WSP Q&A

Q ステージ奨学金は何度でも利用できるの?

A はい。同じ留学プログラムでなければ、ステージ奨学金は何度でも利用できます。ただし、3カ月未満の海外セミナーについては各セミナーで5名以内という制限があります。

Q プログラムに参加するには?

A WSPに参加するためには、登録が必要です。基本的に年に2回登録時期を設けます。

Q 資格試験を受けることでしかステージアップできないのですか?

A 英語については資格試験が基準となっています。英語以外の外国語については、本学での外国語科目を修得することでステージアップをめざすことができます。ステージ別履修推奨科目から、自分のめざす留学プログラムで学修上求められる言語を中心に履修・修得をしてください。また、資格試験について一人につき年度内1回、受験料全額を補助します。

Q WSPを修了するには?

A 特に修了要件は設けていませんが、留学プログラムごとに留学成果報告会で発表をしてもらいます。卒業時には、希望者に対して、達成した外国語ステージを記したCertificate(WSP認定証)を発行します。さらに、ステージの進展状況や派遣先での活躍、留学後の活動等について、特に大きく成長した学生については、Special Certificate(WSP特別認定証)が発行されます。

問い合わせ先: 国際センター
TEL: 082-830-1103 MAIL: kokusai@js.shudo-u.ac.jp



人間環境学部 助教

おかにし まさのり
岡西 政典

プロフィール

東京大学大学院 理学系研究科 生物科学専攻 博士課程修了 博士(理学)
専門分野: 動物系統分類学、多様性生物学
主要研究テーマ: 海産動物クモヒトデ類の系統分類学的研究、クモヒトデ類の環境指標生物としての有用性の評価

詳しくはこちら



未来への探求

『新種を見つける学問? 分類学とは』

地球環境問題と生物

近年、地球沸騰と呼ばれるような熱波や各地での大雨、洪水など、地球環境問題がニュースなどで大きく取り上げられるようになりました。

私の専攻する生物学の分野では、環境問題の影響を評価するため、ある地域内の動植物のモニタリング調査を行います。例えばある湖で20種が観察されたとすれば、その後の種の増減を定期的に追うことで、環境変動が生態系に及ぼす影響が評価できることになります。

しかしこの時に、20種以外に80種の新種がいて、これをモニタリングに含めなかったとしたらどうでしょうか。この場合は、その環境変動の評価には大きな偏りが生じると考えられます。なぜなら、湖という一つの生態系において、基本的にはすべての生物は、何らかの形でつながっ

ているからです。もしこの80種に大きな異変が起きた場合、実際にモニタリングしている20種にも、種数の減少などという形で影響が及ぶでしょう。その時私達は「突然湖の生物の種数が減ったが原因不明」という判断をくださざるを得なくなります。原因が不明なので、環境保全計画自体も立てられなくなります。

分類学とは?

私が専門とする分類学は、このようなまだ見つからない新種を発見して名前をつけ、私達が認識できるようにする学問です。例えば世界を騒がせ、新型コロナウイルスの対抗策として開発されたワクチン(特にmRNAワクチン)の製造には大腸菌が用いられます。この大腸菌には分類学によって*Escherichia coli*というアルファベットの綴りの名前が付けられています。これが生物学で用いる「学名」と呼ばれるものです。学名は、人類が共有できる唯一の綴りです。「エスケリキア・コリ」とカタカナで綴っても、それは正式な学名とはなりませんし、それをもって世界中の人と、大腸菌という生物の情報をやり取りし、ワクチンを早急に開発することはできません。生物学の世界では、このように必ず生

物に学名を付けます。学名がないと、私たちはその生物の恩恵にあずかることはできません。

現在学名が付いた生物は約200万種ですが、地球上には、まだ800万も新種があると推定されています(冒頭の80種はこの数字を参考にしたものです)。800万種という時々驚かれますが、実はこの数字すらもはっきりとしたものではなく、もっと多く、1億種以上の新種があると予想する分類学者もいますし、逆に500万種と見積もる分類学者もいます。つまり私たちは、この地球上に、どれだけ生物種がいるのかという、それすらも正確にわかっていないのです。分類学はまだまだ終わりのない学問分野と言えます。

クモヒトデを分類する

私は、海産無脊椎動物のクモヒトデ類という生物を対象に、分類学に取り組んでいます。クモヒトデ類は、ヒトデに似て非なる生物です(図1、2)。一般的にあまり知名度が高くなく、水族館でも海底の掃除屋として飼育されている場合がほとんどです。しかし私は、このクモヒトデの分類学が、地球環境問題の解決に貢献すると考えています。その理由は、クモヒトデの生態にあります。

クモヒトデは、実は岩の下や泥の中などにはたくさん群生しており、海洋に幅広く生息しています(図3)。そのような、生息範囲が広く、数も多い生物は、その生息域の環境を表す「環境指標生物」に適しています。しかし分類学が進んでいないため、環境指標生物としての研究はほぼ行われていませんでした。

そこで私がこれまで、世界中のクモヒトデの標本サンプルを集めて研究を行ってきたところ、これまでに23の新種が発見されました(図4)。日本近海のものですが、これから研究を進めていけば、何百というクモヒトデの新種が見つかるだろう、と予想しています。

さらに最近では、クモヒトデと環境の相互作用を調べるため、海水に漂うクモヒトデのDNAを解析する「メタバーコーディング法」の開発に取り組んでいます。これは水を汲むだけでそこに生息する種数がわかる、新しい技術です(図5)。分類学的な基盤なくしては成らない技術でもあるため、私の専門が活かせる分野だと期待しています。「クモヒトデの分類からその環境指標生物としての有用性を評価し、地球環境問題解決の一助へ」そんな成果を見据えつつ、日々、広島修道大学で研究に励んでいます。

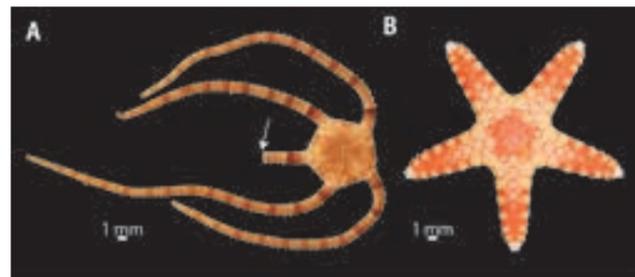


図1 メナシクモヒトデ(A)とジュズベリヒトデ(B)の背側の様子。矢印は自切した腕の切断部。

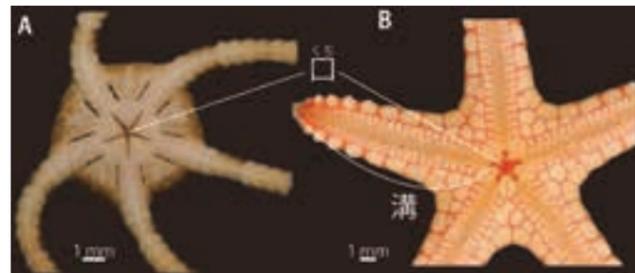


図2 メナシクモヒトデ(A)とジュズベリヒトデ(B)の腹側の様子。腕の真ん中に溝がある方がヒトデ、なければクモヒトデと見分けができる。



図3 相模湾で得られるクモヒトデ。写真撮影: 幸塚久典(東京大学)

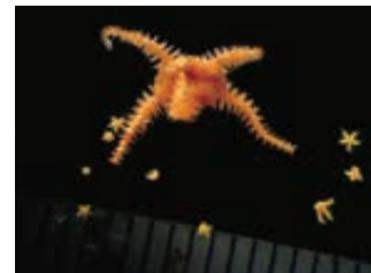


図4 2021年に新種として記載したコンジキコモチクモヒトデ(*Ophiodeloides okayoshitakai*)。親は子供を体内に保育する。その子供が体外に放出されている。写真撮影: 幸塚久典(東京大学)



図5 メタバーコーディング解析用の海水を汲む様子。

修 大 人 の 飛 翔

活躍する卒業生

GRADUATES
MESSAGE

Vol.49

ひかり総合法律事務所
弁護士

かわ むら こう じ
川村 孔二さん

広島修道大学法学部法律学科 2006年3月卒業
広島修道大学法務研究科(法科大学院) 2009年3月修了



詳しくはこちら



サークル活動や学問に 勤しんだ学生生活

学部3年次の始めの頃まで、映画研究会とボクシングのサークルに所属し、大会という目標に向かって仲間と一緒に取り組む姿勢を学びました。また、民法や刑法のゼミナールでは、多角的な視点で事案を検討したり、法律の解釈にあたって様々な考え方があることを学びました。

サークル活動やゼミナールを通じて、相手の意見・考えについて、どのような理由からその意見に至ったのかなどを考えたり、相手に質問した経験は、検事時代の取調べや弁護士の法律相談などに生かしていると思います。

法律家に感銘受け 法曹の道へ

警察官になりたいという漠然とした考えで法学部法律学科に入学しました。日常生活にとって身近な法律に興味を持つようになりましたが、当初は、司法試験を受験しようとは全く考えていませんでした。しかし、3年次に現役の弁護士である2人の先生の民法の授業を受講し、実際の事案における法律の具体的な適用、法律の解釈・問題点などを学ぶとともに、法律家の考え方に感銘を受け、弁護士をめざすことにしました。

司法試験に合格すると、約1年間の司法修習があるのですが、その修習期間の検察修習において、検事の仕事にやりがいを感じたため、検事採用面接を受け検事に任官しました。

多種多様な訴訟に 携わった検事時代

検事任職中は、大阪、宇都宮、東京、横浜、岡山及び広島の各地方検察庁において、捜査・公判の仕事をしていました。捜査の仕事は、被疑者の取調べ、被害者等の参考人の事情聴取を行い、証拠の精査をした上で、起訴・不起訴を決めるものになります。公判の仕事は、刑事裁判に出廷して、有罪立証のための証拠調べや意見を述べるものになります。事件の内容は、窃盗、傷害、殺人などの一般刑事に加え、交通事故、薬物事件、脱税事件などの幅広い分野を担当しました。また、検事任職中に福岡法務局に出向し、国が当事者となる国家賠償請求訴訟や行政訴訟において、国の代理人として訴訟活動を行う訟務検事として働いていたこともあります。

昨今、インターネット上で詐欺の受け子などを募集する、いわゆる闇バイトが問題となっていますが、検事任職中、高校生や大学生が高額な報酬欲しさに、詐欺の受け子や薬物の転売などに加担して逮捕された事件を担当することがありました。逮捕された大学生らは、その多くがそれまで犯罪に関与したことがない普通の学生たちであり、逮捕後に、家族や将来のことを考えてとても後悔している姿を見るのはつらかったです。

地域に根付く弁護士

検事として約12年間勤務した後、今年から地元広島で弁護士をすることになりました。弁護士として働いて



いる期間はまだまだ短いですが、離婚や遺産分割、交通事故などの分野を扱っています。法律相談では、相談者から、どのような解決を望んでいるのかをしっかりと聞いた上で、それ以外の適切な解決方法があれば、それを提案し、相談者にとって最適な方法で悩みや紛争を解決していきたいと思っています。

検事任職中は2年毎に転勤があったため、法科大学院卒業以降は、故郷である広島にほとんど住むことができませんでしたが、今後は、地域に根付く弁護士になれるよう頑張っていきたいです。

目標達成のために 大事なものは計画

大学生活は、将来のことを見据えて、興味があることに積極的に取り組むべきだと思います。そして、やりたい仕事、職業という目標が決まったのであれば、その目標に向かい、どのような行動をとる必要があるのかを考えて計画を立てることが大事です。目標がとてつもないもので、周りから「無理だ」と言われても、しっかり計画を立てて努力すれば、きっと目標を達成することができると思います。

私のターニングポイント

法曹をめざすきっかけとなった、3年次の民法の授業です。ここで出会った先生の1人が、現在勤務する事務所所長を務める弁護士でした。



▲法律学科の授業で使用した「模擬法廷」



辻 雄亮 (つじ ゆうすけ) さん
商学部 商学科4年
広島県・崇徳高校出身

コロナ禍を乗り越え、仲間と共に歩んだ学友会第65期執行委員長

フラワーフェスティバル、空白の4年間

私が第65期執行委員長を務めた2023年以前は、新型コロナウイルスの影響で多くの伝統ある行事がなくなり、学友会の認知度が低下していました。フラワーフェスティバルの活動もそのひとつです。私たちが入学してからフラワーフェスティバルは開催されておらず、今年度4年ぶりの参加となりました。「空白の4年間」は私たちにとってかなり大きい不安でした。さらに本来であれば、5月に開催される予定が、「G7広島サミット」の関係で6月の開催となり、イベント当日のことをイメージすることすら難しい状態でした。

空白という逆境から自発的に自由に

フラワーフェスティバルに参加経験のある学生がおらず、引継ぎのマニュアルもない中、4年前の資料を読み返したりしましたが、今の内容とは異なるものばかりで、戸惑うことが多く不安でいっぱいでした。その中で、ひろしま未来協創センターや学生センターの職員の方々に多くのアドバイスやサポートをしていただき、何とか当日を迎えることができました。経験がなくイメージできなかった分、「来場者ががっかりしないように楽しませよう」と自分たちなりに考えて行動しました。引継ぎのマニュアルがなかったことで、自発的に自由に提案することができ、結果として第65期学友会メンバーの考えや意見をう

まく反映することができたのだと思います。

経験者の話からイメージを膨らませて

先輩からの引継ぎがなかった行事はフラワーフェスティバルだけではありませんでした。行事があるごとに、その企画の運営等について経験されている大学職員の方に聞きに行きました。実際に経験されている方の話を聞くことはとても重要で、企画の細かな部分までイメージを膨らませることができ、本当に助かりました。また、自分たちで新しいやり方、考え方を作るようにも工夫しました。私たちが経験したコロナ禍でできた「空白」は、新しいやり方を自由に作り上げることができ、活動しやすいという良い面もありました。足りなかった部分はありますが、歴史がある学友会の再スタートを切ることができたと思います。

復活への兆し、バトンを次の世代へ

徐々にコロナ禍以前の生活へと戻り、SSCC(修大スポーツチャンピオンカーニバル)やCulture Jam、修大祭等を盛大に開催することができ、ようやく広島修道大学が元の形に戻りつつあると感じます。ここから先、薄れてしまった学友会の認知度を向上させるために、多くの学生が参加しやすい新たな行事の企画を進める等、再スタートした学友会が、広島修道大学の発展に貢献できるように、次期学友会へ想いのバトンを渡したいです。

学友会で得たもの、感謝を伝えたい

学友会の活動で、人との繋がりと助けあうことの大切さを学びました。私は、もともと誰かのために働き、役に立つことがしたいという思いがあり学友会の執行委員長の推薦を受けました。執行委員長として言葉でリーダーシップを発揮するだけではなく、話しかけられやすい存在でありながらも、行動で仲間を引っ張るリーダーを目標に努めてきました。仕事の依頼がきたら、「断る」という選択肢をなくし、「どうやったらできるか」と考えるようにして、できるだけ多くの学生の意見を反映できるようにしました。仕事を受けすぎでキャパオーバーすることもありましたが、周りの執行委員や教職員の方々が親身に支えてくださったおかげで乗り越えることができました。執行委員メンバーは皆、自分の仕事に責任をもって行動し、裏方としても頑張ってくれました。感謝してもきれないです。

学友会の活動で得た、人との縁を大切に、人に親身に寄り添うことで、多くの人の役に立てるように日々精進していきたいです。



海外留学下記



松廣 理沙(まつひろりさ)さん
国際コミュニティ学部国際政治学科4年
(山口県立防府高校出身)

留学先：国立屏東大学(台湾)
留学期間：2022年10月～2023年1月

国立屏東大学へ留学した理由

海外へ行き異文化に触れる中で、色々なことを自分の目で確かめたくて留学しました。

留学先に台湾を選んだのは、台湾のジェンダー平等の達成度の高さに興味があったことが理由です。ジェンダー平等の実際の状況はどうか、また、歴史的に繋がりが深い台湾と日本の現在の関係性などにも関心があり、留学を決めました。大学2年次から勉強していた中国語が好きで、日常生活の中で実践的な中国語を学びたいという思いがあったことも、台湾を選択した理由です。

留学する前は、はっきりと断れない自分の性格を少しでも直したいという気持ちもありました。台湾で色々な人と出会い、関わる中で、自分の内面も成長できればと思いました。

事前に準備したこと

留学するにあたり、台湾に関する情報収集をしました。インターネットや本からの情報収集のほか、修大に留学していた台湾の留学生にも話を聞きに行きました。特に公共交通機関について、台湾の留学生から事前に教えてもらったこともあり、留学初日は空港から屏東まで迷わず行くことができました。

また、中国語の勉強にも力を入れました。オンラインセミナーに参加し、苦手だった発音に集中的に取り組めたこと、中国語の語彙力を高められたことは非常に良かったと感じています。

手続きの面では、国際センターの職員の方に何度もお世話になりました。分からないことは一緒になって解決してくださり、大変だった手続きを無事に

終えることができました。

留學生活で感じたこと

屏東での生活は、日本と比べゆったりとしていました。日本人は時間を守る人が多いですが、台湾の人は時間にルーズなところがあり、この違いに最初は戸惑いました。

大変だったことは、食事や買い物です。特に最初の一週間は、自主防疫*期間中だったため食事や買い物を一人で行う必要があり、自分に合う食べ物を見つけることや、店員さんとの会話で言葉が理解できないことに苦労しました。

大学の寮に入ってから、気のあうルームメイトと、食事や買い物をするようになりました。メニューに何が書いてあるのか教えてくれたり、買い物を手伝ってくれたり、色々な面で助けてもらいました。自分一人ではできないこと、難しいことがたくさんありましたが、ルームメイトをはじめ、先生や職員の方々、クラスメイトを頼り、分からないことは自分から聞くことで、一つ一つ乗り越えていくことができました。



留学で得たもの

私は、中国語の授業をタイやインドネシア、ベトナム出身の留学生と一緒に履修していました。中国語の勉強だけでなく、アクティビティやプレゼンテーションを通して、他国の食文化について知ることができたり、文化の違いに驚いたり、色々な発見がありました。日本

人は私だけだったので不安なこともありましたが、楽しみながら中国語を勉強できたことが良かったと感じています。

留学を通して、自分の意見や希望を相手に伝えられるようになりました。留学当初は、自分から言葉を発することは少なく、相手の勢いに押されてばかりでした。このことを先生に相談し、断るべきところはしっかり断ること、自分の意見や希望を明確に伝えること、この2つを意識しながら生活するようになりました。現地ですぐに友人と遊ぶだけでなく、授業のグループ活動などでも自分の意見をしっかりと伝えられるようになり、内面の成長を感じました。

大学を卒業し社会人になっても主体的に行動し、興味を持ったことには積極的に挑戦していきたいです。



修大生へのメッセージ

留学に興味がある人には、機会を見つけ、留学の選択肢を選んでもらいたいです。

留学前も、留学中も、不安なことは多々あると思いますが、そんなときは周りにいる人を頼り、話を聞いてもらってください。

留学中は慣れないこともあり大変ですが、次第に、海外で学べること、異文化交流できることへの喜びや楽しい気持ちが増えてきます。ぜひ留学に挑戦してみてください。

*旅行者などが台湾に入国後7日間、マスク着用やソーシャルディスタンスの保持、1人1室(独立のトイレ・バス)利用などの健康管理を行う、新型コロナウイルス感染症に係る水際対策

省エネルギーを考慮したキャンパス整備



本学では、施設及び設備の効果的な省エネルギー活動を推進しています。2023年4月1日から施行された改正省エネ法^{※1}では、非化石エネルギーの導入、拡大、転換が求められています。

本学では、この非化石エネルギーを活用することで、SDGsに大きく寄与するものと考えています。今回は本学が今年度に取り組んだ活動をご紹介します。

1 3号館太陽光発電設備の導入



リアルタイムで発電状況をお知らせするモニター

2023年11月に3号館に竣工した太陽光発電設備。この太陽光発電設備は、3号館の動力機器に繋げており、創出した電力を3号館で消費しています。導入前のシミュレーションでは、3号館全体の約3割の電力を創出する見込みです。

更に3号館1階エントランスホールに発電状況を表示するモニターも整備しました。発電状況が見える化されたことで、構成員の省エネマインドの醸成に繋がっています。

2 5号館・臨床心理相談センター 照明LED化



2023年の夏季休暇中に5号館と臨床心理相談センターのすべての照明をLED化しました。5号館の10月分電気使用量の対前年度比は28%減となり、エネルギーの効率化が数値ではっきりと表れた結果となりました。

教室の照明をLED化する背景として、トップランナー制度^{※2}の推進が挙げられます。この考え方が導入されたことで、国内の大手メーカーはエネルギー効率の悪い蛍光灯の生産を終了しています。

本学としても、全棟の照明を順次LED化していく予定です。

※1 これまで日本のエネルギーの相当部分を占めていた化石燃料に加え、非化石エネルギーの導入、拡大、更には非化石エネルギーへの転換を求められるようになりました。この非化石エネルギーは環境への適合性が高く、温室効果ガスの削減も図れることが特徴です。

※2 エネルギー消費効率が最も優れているもの(トップランナー)の性能と今後の技術開発の見通しを考慮して定められた目標値を示し、その目標を達成するための製品開発を促す制度。

フードバンクへの取り組み、 学生に食品・食材を配布



2023年に発足した地域共創サークルAICY(アイシー)が、フードバンクに関する活動として本学学生に食品や食材の配布を行いました。

フードバンク活動とは、賞味期限が近いなどの理由で、通常販売が難しい食品・食材を経済的な負担で困っている学生や福祉施設等へ、無償で提供するというボランティア活動のことです。

この活動の目的には、農家やスーパーで発生しているフードロス(食料ロス)を軽減することだけでなく、本学の学生に対し「地域の企業や農家を知るきっかけを作る」といった目的や、SDGsへの関心を促すというものがあります。そのため、食品や食材を受け取る学生には、農家の農作業ボランティア募集な

どを紹介するウェブサイトへの登録を条件としました。

フードバンクの取り組みを行うにあたり、この活動の責任者である行友佳祐さん(法学部法律学科3年)は、サークルのメンバーとともに学内のフードバンクの需要について調査を行いました。大学生が得られる恩恵は「食費の節約」ではないかと想定し、「食費に関するアンケート」を実施、161名の回答を集計しました。結果として、「食費に困った」という回答は全体の47.2%でしたが、フードバンクの食事提供を「受け取りたい」という回答は85.7%にも及び、このアンケートからフードバンクの需要はあると判断し、実行へと準備をすすめました。

企画にあたり、衛生上の留意すべきこと、食品の安全性、想定しうるトラブル、転売などの禁止事項、企業の協体制、学校とサークルでの食品の受取に関するルールなどをすべて書面化して用意し、大学からの許可を得て、実行の運びとなりました。

11月30日に、広島県の農家や地元スーパーと提携して用意した50セットの食品、食材を学生へ配布。経済的な余裕のない一人暮らしの学生にとって、この取り組みは生活を助けるものとなりました。

責任者である行友さんは「こうしたフードバンクの取り組みは社会的な注目も徐々に高まっており、反響を加味して今後も定期的に行ってまいります。」と抱負を語りました。

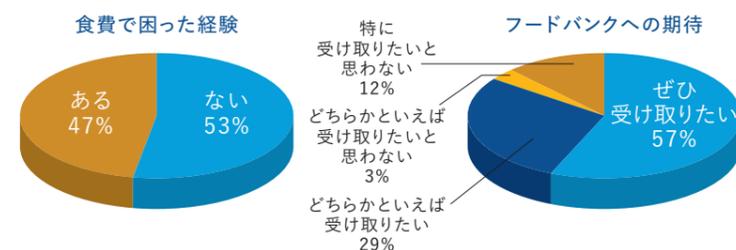


その他の本学における フードバンク活動について

広島県呉市の団体「フードバンクくれ」より食品提供があり、学生センターより学生に無料配布しました。11月14日～16日の3日間実施し、お菓子やレトルト食品などの入った袋を合計200セット配布しました。



〈フードバンクの需要に関する学内調査〉





広島市立沼田高校で お弁当を配食(10/25・11/1)

食堂運営会社の急な事業停止で食事提供が9月から停止していた問題に対し、健康科学部健康栄養学科の学生有志が広島市立沼田高校の体育コース寮生62名にお弁当を配食。この活動は、学生達が広島修道大学同窓会の「広島修道大学学生チャレンジ支援金」に、「バランスの良い食事提供プロジェクト」として応募し、実現した。



市川太一名誉教授が 2023年秋の叙勲を受章(11/3)

2023年秋の叙勲にて、本学元学長の市川太一名誉教授が「瑞宝中綬章」を受章。瑞宝章は、公務等に長年にわたり従事し、国家または公共に対し功労のある方に授与されるもので、市川名誉教授は、本学および学校法人修道学園において、法学部長、修道学園理事・評議員、本学学長、修道短期大学部学長、鈴峯女子短期大学学長を歴任し、本学学長を務めた期間は通算14年に及ぶ。本学の経営を安定させる等、多大なる貢献を果たされたことで、この度の受章となった。



第63回修大祭(大学祭)& ホームカミングデーを開催(11/3)

4年ぶりに一般来場者を迎える修大祭(大学祭)を開催。多くの卒業生や市民の方々等が訪れ、学生たちの趣向を凝らしたイベントやお笑い芸人ライブステージ等、様々な企画で大いに盛り上がった。また同日、16年ぶりの開催となるホームカミングデーも開催され、卒業生や元教職員など約90名が参加。市川薫名誉教授の講演会や懐かしの写真のパネル展示などで久しぶりの学生気分を味わった。



ハワイ大学マノア校との 海外協定締結記念事業を開催(11/24・12/5)

ハワイ大学マノア校との海外協定締結記念事業として、11月24日に映画監督である松元裕之氏を招き、ドキュメンタリー映画「Go for Broke! ハワイ日系二世の記憶」の上映会を開催。広島とハワイとの歴史的な結びつきを学生たちに伝えたいとの思いから実現した。また、12月5日はハワイ大学マノア校のKyle Kajihira氏による「Japanese and Okinawans in Hawai'i: A Brief Political History」と題したオンラインレクチャーを実施した。



2023年度インターンシップ 報告会を開催(10/25)

インターンシップに参加した学生の代表7名が活動を通して学んだことなどを発表する報告会を開催。受け入れ先の担当者から感想をいただき、学生にとってインターンシップの体験を振り返る貴重な機会となった。



SPA主催の就活相談会 「秋の座談会」を開催(11/17)

就職先が決定したSPA学生が、座談会形式の就活相談会を開催。「後輩の就職活動をサポートしたい」との思いで企画し、就職活動を控えた3年生30名が参加した。



第2回広島県大学生地域連携 活動発表会に参加(12/2)

「第2回広島県大学生地域連携活動発表会」に県内12大学が参加。本学からは地域つながるプロジェクト「宮島観光活性化プロジェクト」の学生が参加し、外国語表記の看板等に関する言語景観を課題に掲げる取り組みについて発表した。



カーボンニュートラルに 向けた講演を開催(11/9)

国際コミュニティ学部「地域デザイン論」の授業で、ひろしま自動車産学官連携推進会議の方を講師に迎え、講演を開催。3・4年生22名が参加。マツダ株式会社の次世代バイオディーゼル燃料実証実験車両の展示も行った。



公務員合格体験報告会を 開催(11/27)

公務員試験に合格した学生による報告会を開催。公務員を志望する学生100名が参加。登壇した5名は受験までの経緯や志望理由、勉強方法等を報告。座談会形式の質問会も実施した。



2023年度サークル研修会を 開催(12/9)

UNIVAS(大学スポーツ協会)協力のもと、サークル研修会を開催。学生、教職員及び学外指導者等計63名が参加。薬物問題を含めたトラブル防止を目的とした「コンプライアンス研修」等を行った。



教員採用試験対策キックオフ セミナーを開催(11/10)

公立学校教員をめざす学生を対象に、「教員採用試験対策キックオフセミナー」を初開催。130名を超える学生が参加。学生の志望する自治体の傾向に合わせたオリジナル冊子をもとに試験対策が説明された。



2023年度地域活動講習会を 開催(11/30)

ボランティアや地域つながるプロジェクト等の参加希望学生を対象とした講習会を開催。10名の学生が参加した。登壇学生4名から体験談や活動するうえで大切なことについての説明の後、交流会で活動についての質疑応答が行われた。



2024年度入学予定者対象第1回 キャンパス学習を開催(12/17)

総合型選抜・学校推薦型選抜(公募(専願)・指定校・附属校(専願))で合格した高校生を対象に、入学後の学びに触れてもらうための入学準備学習プログラムを実施。模擬授業等を通じて参加者や在学生と親交を深めた。



吹奏楽団・混声合唱団

シャレオ大学生コンサートに参加



11月26日、教育ネットワーク中国主催の「大学競宴!シャレオ大学生コンサート」に本学より吹奏楽団、混声合唱団が参加しました。

吹奏楽団が木管五重奏で「魔法の宅急便メドレー」、バリ四重奏で「星に願いを」、「アンダーザシー」を演奏、混声合唱団が「ストロー」、「いつか」、「MajiでKoiする5秒前」をアカペラで演奏し、多くの方々から温かい拍手をいただきました。



詳しくはこちら

スカッシュ部



第50回記念全日本学生スカッシュ選手権に出場

12月2日～5日、ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBEで行われた「第50回記念全日本学生スカッシュ選手権」にスカッシュ部が出場し、好成績を収めました。

大村 真穂さん(商学部商学科3年)が女子ベスト16、新人戦では、高原 涼雅さん(法学部法律学科1年)、藤田 梨央さん(人文学部人間関係学科1年)、山根 遼士さん(商学部経営学科1年)がベスト16などの成績を収めました。



詳しくはこちら

CIRCLE SCHEDULE

サークルの大会・イベントなどの活動スケジュールを大学WEBサイト「クラブ・サークル」ページ内で公開しています。以下の2次元コードからアクセスし、「大会・イベントスケジュール」を選択してご覧ください。



ピックアップサークル

合気道部



心身共に成長する

私たち合気道部は、現在16名で活動しています。合気道は相手の力を利用する護身術で、年齢や性別、体格差に関係なく少ない力で技をかけることができます。また、他の武道とは異なり、相手を攻撃するためではなく自身を守るための武道であるため、試合はありませんが、自身の技を磨くのと同時に心身の鍛錬にも繋がります。

普段の活動では、有段者(黒帯)になるための審査や、毎年5月に東京で開催される演武大会などに向けて日々鍛錬に打ち込んでいます。特に2023年は創部55周年の節目を祝う大会を開催することができ、より一層稽古に熱が入りました。



刊行物紹介

本学教員の著書を紹介し、紹介文は先生ご自身よりいただいています。

『高橋則夫先生古稀祝賀論文集 上巻』

【執筆等教員】伊藤 嘉亮(法学部) 山口厚[ほか]編集委員 成文堂 2022年03月 1056ページ 22,000円(税込)

刑法学のあらゆる領域でご活躍なされた高橋則夫先生の古稀を記念して編まれた論文集であり、様々なテーマに関する論文が収録されています。私は、「正当防衛の制限原理」というタイトルの下、正当防衛の要件がすべて充足されているように見えるにもかかわらず、先行情形によって正当防衛の成立が否定される事例群を類型化した上で、事案類型(侵害予期類型と自招侵害類型)ごとに正当防衛が否定される根拠を分析しています。



『岩波講座世界歴史10巻 モンゴル帝国と海域世界 12～14世紀』

【執筆等教員】宇野 伸浩(国際コミュニティ学部) 荒川正晴[ほか]編 岩波書店 2023年04月 328ページ 3,520円(税込)

本書の巻頭に「展望 初期グローバル化としてのモンゴル帝国の成立・展開」を執筆しました。モンゴル帝国の時代を「初期グローバル化」と考える説を受けて、チンギス・カンの建国以前に西アジアからイスラーム教、東シリア教会がモンゴル高原に到達し、西アジア文明の東方への拡大というグローバル化(東西の一体化)がすでに始まっていたこと、チンギス・カンの建国、西方遠征、帝国の拡大はグローバル化を加速したことを明らかにしました。



『どうしてそうなった!? いきもの名前:奥深い和名と学名の意味・しくみ・由来』

【執筆等教員】岡西 政典(人間環境学部) 丸山貴史著 岡西政典監修 緑書房 2023年12月 284ページ 2,420円(税込)

本書では、世界中の様々な生物の名前にまつわる興味深いエピソードを紹介し、例えば東京にいないのに「トウキョウ」を冠するネズミの名前や、世界一短い恐竜の名前など、明日誰かに話したくなる名前が満載です。標準和名や学名だけでなく、地方名や流通名も取り上げ、名前の意味や由来を通じて生き物の特徴や生態に迫ります。また、分類学の基本を学びながら、その意義や新種を発表する手順についても理解できる内容になっています。



新体育館完成までの道のり



※デザインは変更となる場合があります。

夏号から始まった連載「新体育館完成までの道のり」。第3回となる今回は、いよいよ始まった新体育館建設工事の進捗状況をお届けします!

工事の様子

○解体工事等の様子

テニスコートの移設が完了し、解体工事が進められています。現在は基礎掘削工事が進められ、同時にインフラ切り替えのために地下でインフラ迂回工事が進められています。



2025年度
完成予定

詳しくはこちら



▲解体工事



▲基礎掘削工事

修大グッズ 販売開始

広島修道大学のオリジナルグッズが
生協ショップにて販売されます！

表面はイラストの下地の色を白にして、裏面はクリアにしました。裏面から、ファイルの中身を見ることができ、機能性にもこだわりました！

シャーペン、黒・赤ボールペンの3つの機能があり、無駄なく1本でスッキリ持ち運ぶことができ、就活にピッタリの一本です。特にグレーがおすすめ！

1
修大オリジナル
「ブレン」
販売価格
¥440

押し出すタイプではなく、本体の上部を回してペン先を出すタイプのペンです。ツヤのある色感も、高級感があり、一押しペンです！

2
修大オリジナル
「クリアファイル」
販売価格
¥110

身近なフリクションボールペンと修大のコラボが嬉しい一本です。簡単に消すことができるので、スケジュール帳などにぜひ使ってください！

修大グッズを作るにあたり、何から始めたら良いのか分からず戸惑いましたが、他大学を調査しながら進めました。広島修道大学をより身近に感じて欲しいと思い、色やデザインを考えました。

修大のシンボルマークのカラーである、ブルーやグレーなど、寒色系の色味を多く採用しています。広報スタッフで意見を出し合い、修大グッズという形となりとてもうれしいです。生協ショップで気軽に手に取ってみてください！

4
修大オリジナル
「シャーボ」
販売価格
¥1,584

3
修大オリジナル
「フリクションボールペン」
販売価格
¥528

5
修大オリジナル
「ジェットストリーム」
販売価格
¥880

わたしたち学生広報スタッフが制作に携わりました

浅井 仁子 国際コミュニティ学部 国際政治学科 4年
林 陽花/加藤 瑠菜 国際コミュニティ学部 地域行政学科 2年
若宮 悠 国際コミュニティ学部 国際政治学科 3年

EVENT

2月16日(金)

・地域つながるプロジェクト・
地域つながるスタートアッププロジェクト2023活動報告会

時間:10:20~

場所:本学3号館3101教室



3月19日(火)

・学位授与式

時間:13:00~

場所:本学体育館



4月2日(火)

・入学式

時間:13:00~

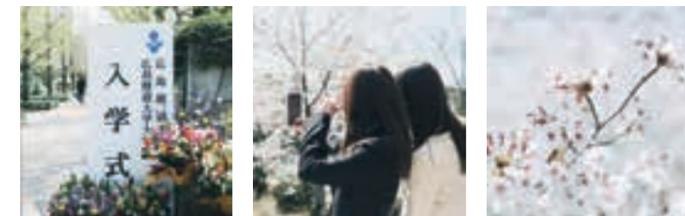
場所:本学体育館

・新入生保証人対象

教育懇談会

時間:14:30~

場所:本学体育館ほか



入学試験案内

一般選抜(前期日程)が終わり、3月には一般選抜(後期日程)が行われます。

入試情報サイトでは、入試相談会等のイベント情報や、本学の魅力を知っていただくための動画やパンフレットなど、様々なコンテンツを用意し、受験生に必要な情報をタイムリーに更新しています。是非ご覧ください。



・入試情報サイト



・入学試験スケジュール



アンケートにご協力ください。

「広報誌TRUTH」および「本学広報」について、ご意見・ご感想をお聞かせください。いただいたアンケート内容は今後の誌面作りおよび広報活動に活用させていただきます。また、アンケートでプレゼントを希望された方の中から、抽選で修大オリジナルグッズをプレゼントします。

アンケートは以下のURLもしくは2次元コードからWEB上にてご回答ください。

<https://ws.formzu.net/dist/S84975475/>



PRESENT 修大オリジナル 修正テープ

計20名



抽選で20名様に「修大オリジナル 修正テープ (ZEBRA P-U5C7 [クルティア]) 3色」何れか1つをプレゼント!
応募締切:3月29日(金)

※当選はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。※色は選べません。

2024年度からTRUTHは年3回の発行となります。(春夏号・秋号・冬号)